

Table with columns for project name, code, budget, and classification. Includes '下水道会計 施設維持管理費' and '下水道課 工務班'.

1 現状把握(Do)

(1) 事業概要

Table with 2 columns: ① 事業期間 (Project Period) and ② 事業の内容 (Project Content). Includes details on annual cycle and wastewater treatment processes.

(2) トータルコスト

Table showing cost breakdown for 25th fiscal year. Includes categories like '委託料' (Contract fees) and '延べ業務時間' (Total working hours).

Table showing total costs and personnel expenses from 23rd to 26th fiscal years. Includes '事業費' (Project costs) and '人件費' (Personnel costs).

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

Large table mapping activities (手段), objectives (目的), and higher-level objectives (上位目的) to specific indicators (指標) and their trends from 2011 to 2026.

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

Table with 3 columns: ① 開始したきっかけ (Start trigger), ② 事務事業を取り巻く状況 (Surrounding circumstances), and ③ この事務事業に対して関係者からの意見 (Opinions from stakeholders).

事務事業名	【下水道会計】施設維持管理費	課名	下水道課	班名	工務班
-------	----------------	----	------	----	-----

2 評価(Check1)担当者による事後評価

目的 妥当性 評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の目的は市の施策体系に結びつくか？意図することが上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ ・旭市浄化センターを含めた公共下水道の効率的な運用は、河川の汚濁防止に有効であり、旭市総合計画での「快適でうるおいのあるまちづくり」に結びつくものである。
	② 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 供用区域内の下水道処理を適切に行うために浄化センター施設を維持管理し、公衆衛生の向上を図るための事業であり、対象・意図ともに適切である。
	③ 行政関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して実施すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ ・下水道事業は市が行うことと下水道法で規定されている。下水道の普及は、公衆衛生の向上に大きな役割を果たし、河川等の公共用水域の水質保全など環境面でも効果は大きく、行政によるインフラとして整備されることが妥当である。
	④ 成果の現状水準 あるべき水準や目標に達しているか？近隣市や類似団体と比較してどうか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ ・新川及び仁玉川のBODは改善されており妥当である。
	⑤ 成果の向上余地 次年度以降の成果向上が期待できるか？事務事業を取り巻く環境変化等を考慮するかどうか？成果の向上余地はどの程度あるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 活動量を増やせば成果は向上する ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 活動量を増やさなくても、やり方を工夫することで成果は向上する ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 活動量を増やしたり、活動を工夫したりしても、今以上成果は向上しない ⇒【理由】↷ ・予防的に設備の修繕を増やすことにより、故障件数の減少が期待できる。
有効性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業の他(民間・国県を含む)に方法があるか？ ↓ 他に手段がある場合 (1)具体的にはどのような事務事業か？ (2)類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ↳(1)事務事業名：(農業集落排水事業) (2) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合ができる ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 連携ができる ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 既に統廃合・連携している ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 使用料徴収事務等の類似性のあるものは統合可能であり、検討を進める。
	⑦ 事業費の削減余地(表面トータルコストの事業費部分) 事業費を削減できないか？(経費の精査、過剰仕様の適正化、回数削減、住民の協力、アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ ・最低限の維持管理で行っており、コストの削減は難しいが、下水道への接続を促進し、収入(下水道使用量)を増やし、処理水量当りの費用削減、修繕費を中心としたコストの削減を図っていく。
効率性 評価	⑧ 人件費の削減余地(表面トータルコストの人件費部分) やり方の工夫(業務プロセスの改善など)や臨時職員の活用・委託により、正規職員の延べ業務時間を削減できないか？	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ ・下水処理場の運転管理業務は電気・機械設備を中心として専門的な知識が必要であり、委託業務を監督する正職員においても専門的な知識と経験が求められ、技術レベルの維持と継続的な業務の遂行には正規職員2名が必要であり、業務時間も今以上の削減は困難である。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ ・使用量が多いほど単価が高い料金設定になっており、処理場の維持費等の固定費用に対しては、受益者が応分の負担をしているので、公正・適正である。

3 評価(Check2)担当課長による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	・施設の延命化に向け、常に整備・点検をおこたらず、修繕費等の経費削減を図る。 ・下水道への接続を積極的に増加させ、使用料増により繰入金削減を図る。 ・委託業務に係る経費の削減に向け、委託内容を精査する。
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(Plan)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可)		※2~3年後を目処にした方向性		(3) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
		コスト																							
		削減	維持		増加																				
成果	向上		○																						
	維持																								
	低下																								
<input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善による成果向上 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善による事業費削減 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 廃止・休止		<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携(関連事業：農業集落排水事業) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善による延べ業務時間削減 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化																							
(2) 改革改善案について ※いつまでに、なにを、どうするのか？																									
いつまでに		なにを、どうするのか？																							
① 継続実施	① 修繕費を中心としたコストの削減を図る。																								
② 継続実施	② 当処理場の規模・特性に合った業務内容となっているか委託仕様書を点検し、効率化を推進し、全体コストの削減を図る。																								

(4) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

- 施設が老朽化していく中で修繕費を中心にランニングコストの上昇が想定されるので、計画的な点検修繕を行い、施設の延命を図り、トータルコストの削減を目指す。
- 事業規模が小さいため、処理水量の変動(大口需要家の使用開始など)により影響を受けやすい。処理水量の増大によって事業規模を大きくすることで、外部の変化に影響を受けにくい安定した処理場の運転管理が見込まれ、配置人員の適正化も進めやすい。